## 2

## 水道事業・公共下水道事業の決算(平成27年度)の概要

27年度、水道事業及び公共下水道事業はともに健全財政を維持することができました。

今後とも、より一層の経営の効率化に取り組むなど健全な事業運営を図りながら、水道事業においては安全でおいしい水の安定的な供 給に、公共下水道事業においては快適な生活環境の確保や公共用水域の水質保全に努めていきます。

水をつくり、家庭などに送ることで得られる収入とそのための支出=**収益的収支**(税抜) 純利益12.5億円(※1) 給水負担金 企業債の利子 9.4億円 など 4.3億円 減価償却費(※3) 水道料金 長期前受金 103.1億円 戻入(※2) 8.6億円

> 1.8億円 収入116.0億円 支出103.5億円+純利益12.5億円=116.0億円

その他

水道施設を整備改良するための収入と支出 =**資本的収支**(税込) 浄水場や配水管などの 内部留保資金 整備費用 補てん額(※4) 32.9億円 その他 44.6億円 2.5億円 補助金・ 企業債元金の返済 31.6億円 出資金 企業債の借入13.4億円 4.0億円 収入19.9億円+内部留保資金補でん額44.6億円=64.5億円 支出64.5億円

家庭などから集めた汚水をきれいにすることで得られる 収入とそのための支出=**収益的収支**(税抜)

補助金など 10.8億円 長期前受金戻入 (※2) 15.3億円

下水道使用料60.2億円

収入86.3億円

純利益8.3億円(※1) その他 2.8億円 企業債の利子 6.5億円 減価償却費(※3) 34.6億円 汚水を集め、 きれいにする費用 34.1億円

支出78.0億円+純利益8.3億円=86.3億円

44.2億円

水をつくり、

家庭などに送る費用

48.1億円

下水道施設を整備改良するための収入と支出 =資本的収支(稅込)

> 内部留保資金 補てん額(※4) 27.5億円

補助金 6.2億円 企業債の借入 9.5億円

その他 0.9億円 企業債元金の返済

収入16.6億円-翌年度繰越額に係る財源充当額1.6億円 +内部留保資金補てん額27.5億円=42.5億円

支出42.5億円

23.7億円

処理場や汚水管などの

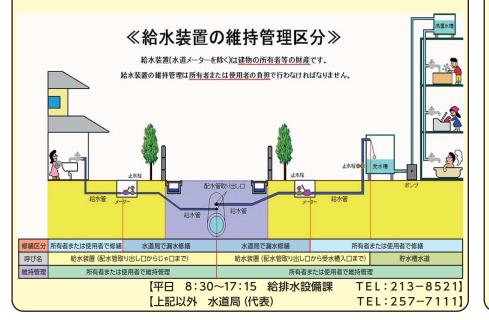
整備費用ほか

18.8億円

- ※ 1 …純利益につきましては、水道事業で5.3億円、公共下水道事業で1.8億円を将来の施設の大規模な更新に備えるため建設改良積立金に積み立てるとともに、水道事業で 7.2億円、公共下水道事業で6.5億円を資本金に組入れました。
- ※2…「長期前受金戻入」とは、水道管などのように長期間使用される資産の取得に充てられた補助金などの収入を、耐用年数(水道管の場合、40年となります。)の期間に 応じて按分して収益化したもので、減価償却に併せて発生するものです。 なお、補助金などの収入は、資産の取得の際に使われていますので、「長期前受金戻入」は現金の収入を伴わない収益です。
- ※3…「減価償却費」とは、資産の取得に要した費用を、一度に費用にしないで耐用年数の期間に応じて按分して費用化したものです。なお、「減価償却費」は現金の支出を 伴わない費用であり、減価償却分の資金は内部留保されます。
- ※4…資本的収入(翌年度繰越額に係る財源充当額を除く)が資本的支出に対して不足する額は、減価償却費等により生じる内部留保資金で補てんしています。
- ○水道局では「工業用水道事業」も運営しています。決算状況等については、水道局ホームページ・情報コーナーでも公表しています。【経理課 TEL: 213-8510】

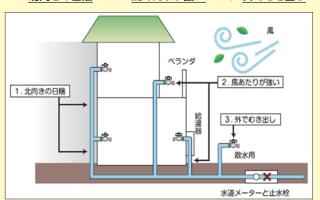
## 『漏水修繕に関する情報』のご案内です

- ○水道本管 (配水管) から分岐して建物などに引き込まれている給水管 (給水装置) は、 水道メーターを除く全てが建物の所有者等の財産です。
- ○給水装置の維持管理は、所有者または使用者が行わなければなりません。
- ○ただし、配水管の分岐から水道メーターまでの自然漏水は、早期修繕を目的として水道
- ○水道メーターより建物側での漏水修繕は、指定給水装置工事事業者に修繕をご依頼くだ さい。
- ○修繕依頼の注意点
- ・ご依頼されるときは、漏水の状況を十分にご説明ください。
- ・なるべく複数の指定工事事業者から見積りを取り、事前に修繕の方法や概算金額の説明 を十分に受けてください。
- ・「給水装置等の修繕に対応する指定工事事業者リスト (3面)」の右下の注意点もご確認 ください。



## 『給水管の凍結』にご注意ください

- ○気温が氷点下になると、給水管内の水が凍って、水が出なくなったり、給水管が破裂し たりする場合があります。
- ○次の図のような場所にある給水管や蛇口では、特に凍結が発生しやすくなります。
  - 1. 北向きの日陰 2. <u>風あたりが強い</u> 3. 外でむき出し



Q.凍結を防ぐには?

A.露出部分の保温・凍結予防には、市販の発泡ポリエチレン 系保温チューブなどの専用の保温材(右写真参照)を巻くと 効果があります。なければ布・毛布を使用し、その上に ビニール類を巻くなどして防水を行ってください。

Q.もし、凍結したら?

A.自然に解けるのを待つか、タオルなどを巻き付けてぬるま 湯をゆっくりとかけましょう。給水管を破裂させる場合が あるので、熱湯を使用してはいけません。

Q.万一、給水管が破裂したら?

A.メーターボックス内の元栓(止水栓)を閉め、水道局指定 給水装置工事事業者に修繕をご依頼ください。

> 【平日 8:30~17:15 給排水設備課 【上記以外 水道局(代表)



TEL:213-8522] TEL:257-7111]